

第1章 精神科臨床評価—全般

1. 全般的状態・精神健康度の評価 齋藤 知見ほか...7
2. 診断面接法
 - 1) Structured Clinical Interview for DSM-IV (SCID)について 山岸由紀子ほか...12
 - 2) 精神疾患簡易構造化面接法(M.I.N.I., M.I.N.I. KIDなど) 大坪 天平...16
3. 全般的機能水準の評価尺度 林 直 樹...22
4. 社会生活能力(Independent living skills)の評価方法 池 淵 恵 美...29
5. ストレスとライフイベント 太 田 敏 男...43
6. 子どものトラウマのアセスメント 西 澤 哲...52
7. 対処様式・能力 佐藤さやかほか...59
8. 生活の質(Quality of Life)尺度評価 田 崎 美弥子...66
9. 霊性(スピリチュアリティ) 森田 達也ほか...72
10. 感情表出 上原 徹ほか...81
11. 精神障害に対する態度, 偏見, Linkスティグマ尺度 下津 咲絵ほか...93
12. 精神科における臨床評価 高 橋 祥 友...101
13. 産科的合併症の評価尺度 高 貝 就 ほか...105
14. Minor Physical Anomalies (MPAs) 酒 井 武 仁 ほか...111

第2章 心理・神経心理学的検査

1. 知能検査
 - 1) 幼児(WPPSIなど) 大 六 一 志...119
 - 2) 児童(WISCなど) 井原 成男ほか...125
 - 3) 成人(WAISなど) 矢野 里佳ほか...134
2. 精神発達検査 畠 垣 智 恵...145
3. 発達障害の評価 金 井 智 恵 子...152
4. 作業検査 金 井 智 恵 子...158
5. 性格・人格検査 質問紙法 大波 幸美ほか...165
6. 投影法(ロールシャッハ・テストなど) 小 川 俊 樹...172
7. 治療的検査(バウムテスト・HTP・家族画・風景構成法・スクリブルとスクイグル・箱庭療法) 増 井 起 代 子...180
8. 利き手(利き目, 利き足)・半球機能—神経心理学と人間学的観点から— 中村 俊規ほか...191
9. 失 認 海野 聡子ほか...202
10. 高次動作性障害(失行) 中 川 賀 嗣...209
11. 言語(失語症・構音障害) 松 田 実...221
12. 記 憶
 - 1) エピソード記憶の評価法 田中 寛之ほか...226
 - 2) 意味記憶の評価法 坂井麻里子ほか...237
 - 3) 手続き記憶 榎林 哲雄ほか...244
 - 4) 作動記憶 徳増 慶子ほか...250
13. 遂行機能 加藤元一郎ほか...256

第3章 精神科臨床評価—特定の精神障害に関連したもの

1. F0: 意識障害, せん妄 高木 俊輔ほか...267
2. F0: 認知症 吉田 哲彦ほか...277
3. F1: 物質関連障害 宮 里 勝 政...291
4. F1: アルコール関連障害 真栄里 仁ほか...303
5. F2: 早期精神病(PRIME Screen, SIPS/SOPS, CAARMS) 根本 隆洋ほか...314
6. F2: 統合失調症
 - 1) 陰性症状評価尺度(SANS)と陽性症状評価尺度(SAPS) 太 田 敏 男...323
 - 2) BPRS, PANSS (包括的評価尺度) 三宅 誕実ほか...330
 - 3) 思考障害 畑 哲 信...338
7. F3: うつ病
 - 1) 評価尺度(ハミルトン評価尺度など) 中 根 秀 之...347
 - 2) 評価尺度(MADRSなど) 高橋 長秀ほか...354
 - 3) 自己評価尺度 小原 美樹ほか...359
 - 4) PHQ-9 (Patient Health Questionnaire-9) 村 松 公 美 子...368
8. F3: 躁 病 岩本 邦弘ほか...375
9. F4: 不安障害
 - 1) パニック発作・恐怖症 小松 智賀ほか...385
 - 2) 社交不安症 兼子 唯ほか...400
 - 3) 強迫性障害 中前 貴ほか...409
 - 4) 心的外傷後ストレス障害(PTSD) 飛鳥井 望...428
10. F4: 身体表現性障害の評価法 是木 明宏ほか...436
11. F4: 解離症状評価尺度(DESなど) 田 辺 肇...445
12. F5: 摂食障害 水田 一郎ほか...468
13. F5: 睡眠障害 降籙 隆二ほか...493
14. F6: パーソナリティ障害(全般) 市 川 玲 子...505
15. F6: BPD・DIB (境界性パーソナリティ障害診断面接紙)など 守 屋 直 樹...512
16. F5: 性機能不全 石丸径一郎ほか...519
17. F6: 性同一性障害 塚 田 攻...535
18. F6: 習慣および衝動の障害(病的賭博, 病的放火, 病的窃盗, 抜毛症, 他の習慣および衝動の障害) 生 地 新...542
19. F7: 知的能力障害(知的発達症/知的発達障害) 長田 洋和ほか...550
20. F8: 広汎性発達障害(自閉症スペクトラム障害)の評価とスクリーニング 太 田 晴 久...560
21. F9: 多動性障害(注意欠如/多動性障害 ADHD) 成 重 竜 一 郎...567

第4章 治療評価

1. 錐体外路症状評価尺度 稲 田 俊 也...575
2. ケアとアウトカム 川 野 雅 資...585
3. 退院準備度評価尺度 井上 顕ほか...597
4. 認知行動療法の評価尺度—QIDS-SR, DAS24, 治療者評価尺度— 藤 澤 大 介...609
5. 自殺の危機介入スキル尺度(日本語版 SIRI) 川島 大輔ほか...621